

つぎの快適をつくろう。

CORONA

2020年3月期 決算説明資料

代表取締役社長 小林 一芳

東証一部 証券コード 5909

<https://www.corona.co.jp/>

2020年 5月

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績につきましては、今後様々な要因により見通しと異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

1. 2020年3月期 連結業績ハイライト
2. 2021年3月期 計画
3. 第8次中期経営計画の取組み状況

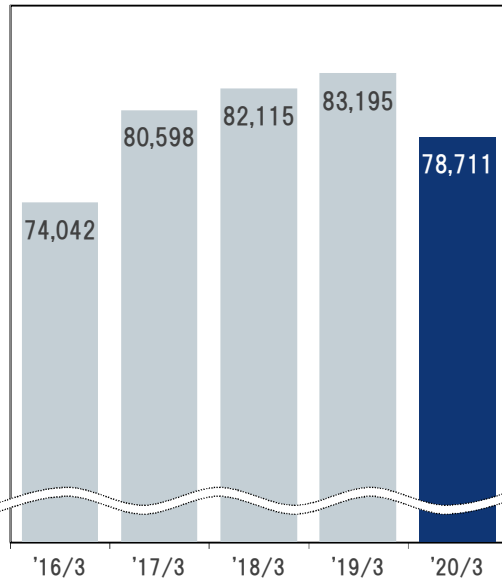
(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	83,195	78,711	△4,483	△5.4
営業利益	1,639	517	△1,121	△68.4
経常利益	1,926	792	△1,134	△58.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,248	385	△862	△69.1

主な増減要因

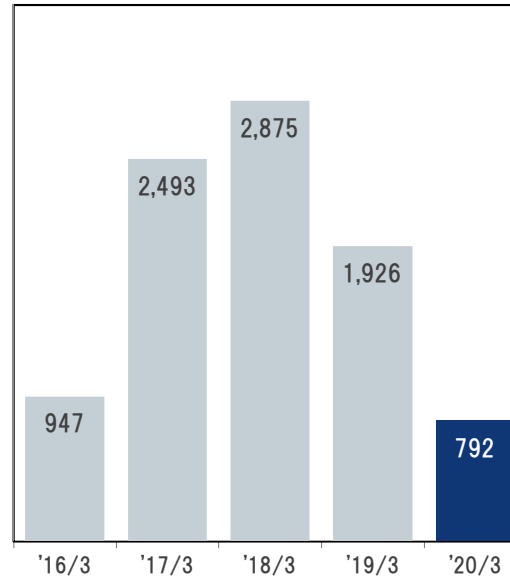
- 売上高 住宅設備機器が順調に推移したものの、暖房機器、空調・家電機器の減少が影響し、前期を下回る
- 利益面 暖房機器、空調・家電機器の売上減少が影響し、各利益も前期を下回る

(単位：百万円)

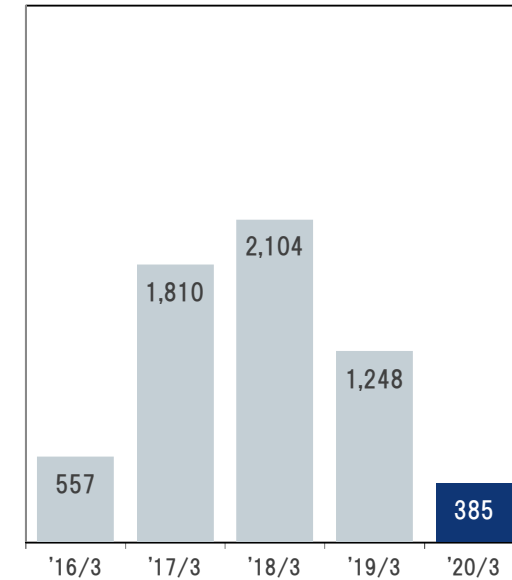
売上高



経常利益



当期純利益



トピックス

- 夏の天候不順と暖冬・小雪の異常気象が影響し季節商品の販売が減少、'16/3期以来の減収
- 主に暖房機器の売上減少を主要因として2期連続の減益

連結売上高 四半期推移



(単位：百万円)

	'16/3		'17/3		'18/3		'19/3		'20/3	
1Q	14,500	19.6%	16,782	20.8%	17,295	21.1%	17,679	21.3%	16,529	21.0%
2Q	19,788	26.7%	19,866	24.7%	20,739	25.3%	21,718	26.1%	23,637	30.0%
3Q	26,715	36.1%	29,194	36.2%	30,076	36.6%	29,484	35.4%	26,516	33.7%
4Q	13,037	17.6%	14,755	18.3%	14,004	17.0%	14,312	17.2%	12,028	15.3%
合計	74,042	100.0%	80,598	100.0%	82,115	100.0%	83,195	100.0%	78,711	100.0%

■ 4Q：暖冬・小雪の異常気象が続き、1～2月の暖房機器販売が低調に推移

■ 通期：下半期の売上高は前期比△5,252百万円、上半期の売上構成比が51%に上昇

※ 暖房機器は秋から冬にかけての第3四半期に増加することから、当社グループの売上高及び利益が第3四半期に増加する傾向

※ 空調・家電機器、住宅設備機器事業の拡大で、季節要因による変動を抑え、平準化を図る方針

連結P/L分析（売上高～経常利益）



（単位：百万円）	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率（%）
売上高	83,195	78,711	△4,483	△5.4
売上原価	63,419	60,231	△3,187	△5.0
売上総利益	19,775	18,480	△1,295	△6.6
販管費	18,135	17,962	△173	△1.0
営業利益	1,639	517	△1,121	△68.4
営業外収益	300	305	5	1.9
営業外費用	13	31	18	138.1
経常利益	1,926	792	△1,134	△58.9

主な増減要因

- 売上原価 暖房機器の売上減少に伴い、原価率が上昇
(原価率：76.2% ⇒ 76.5%)
- 販管費 人件費、物流費の減少等により、販管費は減少
(販管費率：21.8% ⇒ 22.8%)

連結P/L分析（経常利益～当期純利益）



（単位：百万円）	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率（%）
経常利益	1,926	792	△1,134	△58.9
特別利益	5	25	20	385.1
特別損失	78	102	24	31.1
税金等調整前 当期純利益	1,853	715	△1,137	△61.4
法人税等	604	329	△275	△45.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,248	385	△862	△69.1

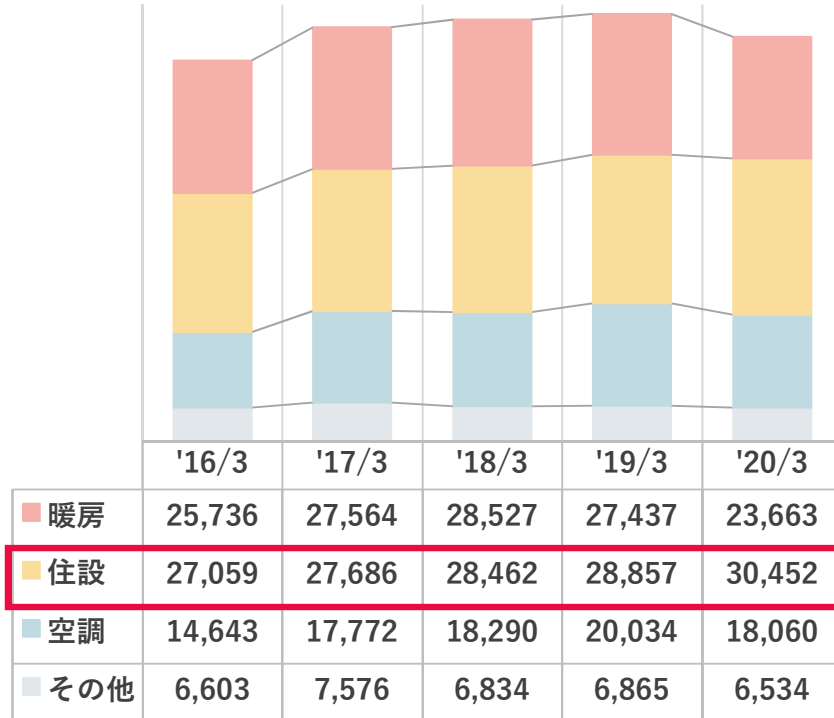
主な増減要因

- 特別利益 投資有価証券売却益 +18百万円
- 特別損失 投資有価証券評価損 +39百万円

連結売上高・製品種類別構成推移

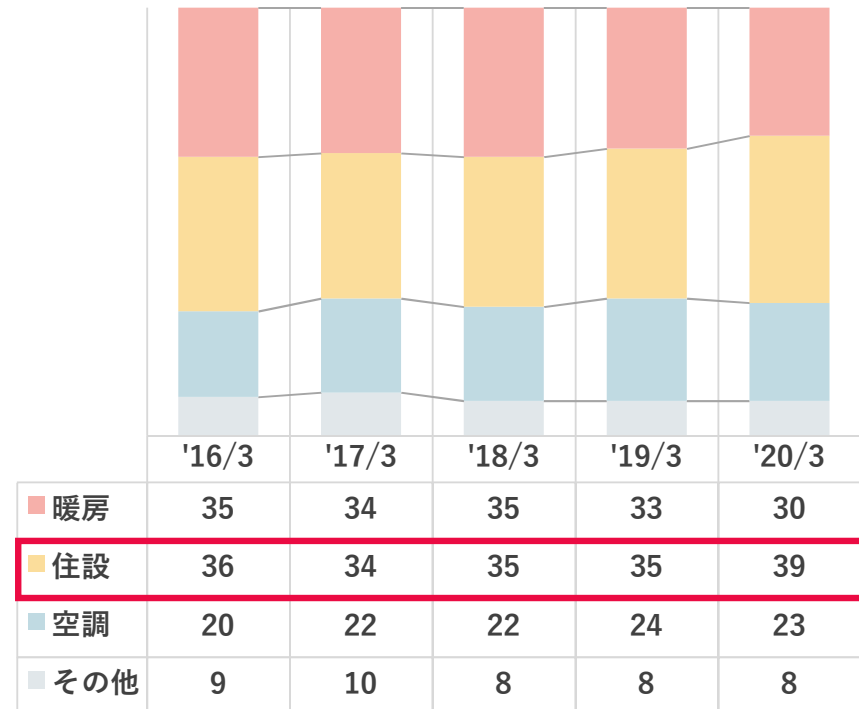
金額

(単位：百万円)



構成比

(単位：%)

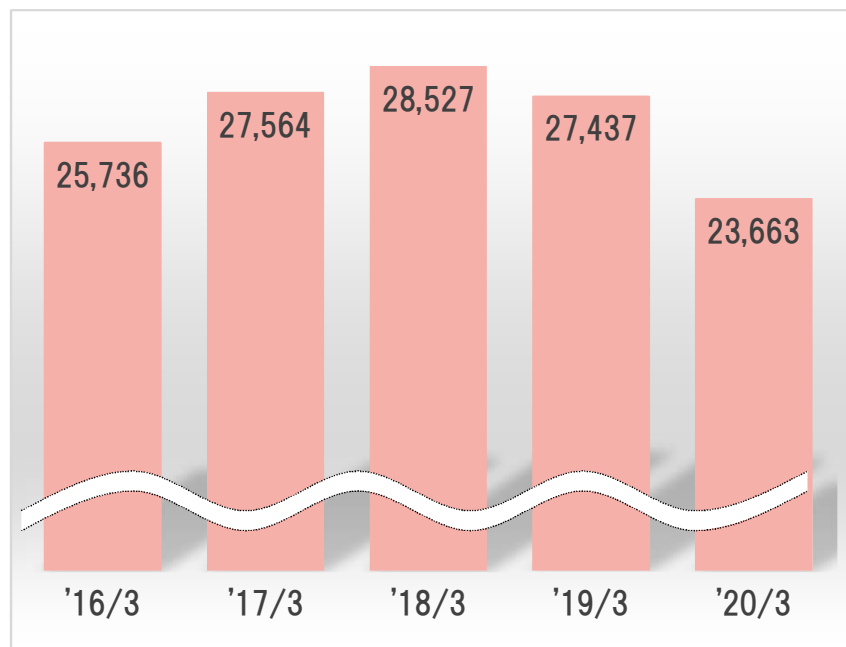


トピックス

- 暖房機器の構成比が30%に減少、住宅設備機器は39%に上昇

売上高推移

(単位：百万円)



主要製品販売台数 前期比増加率

石油ファンヒーター	△18.4%
寒冷地向け石油暖房機	△ 7.8%

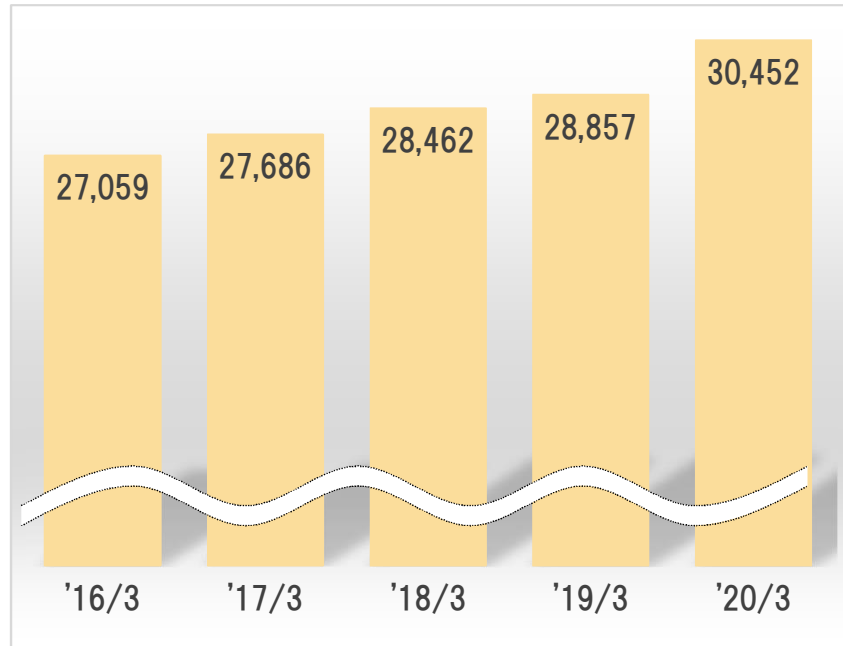


主な増減要因

- 新製品、自然対流形電気暖房機「NOILHEAT（ノイルヒート）」を発売、“空気の質”へのこだわり、提供価値拡大に取り組む
- 全国的な暖冬・小雪の異常気象で暖房機器の販売は大きく減少、寒冷地向け石油暖房機は消費増税後の買い控えも影響

売上高推移

(単位：百万円)



主要製品販売台数 前期比増加率

エコキュート	+ 11.0%
温水暖房システム等	+ 6.7%



エコキュート



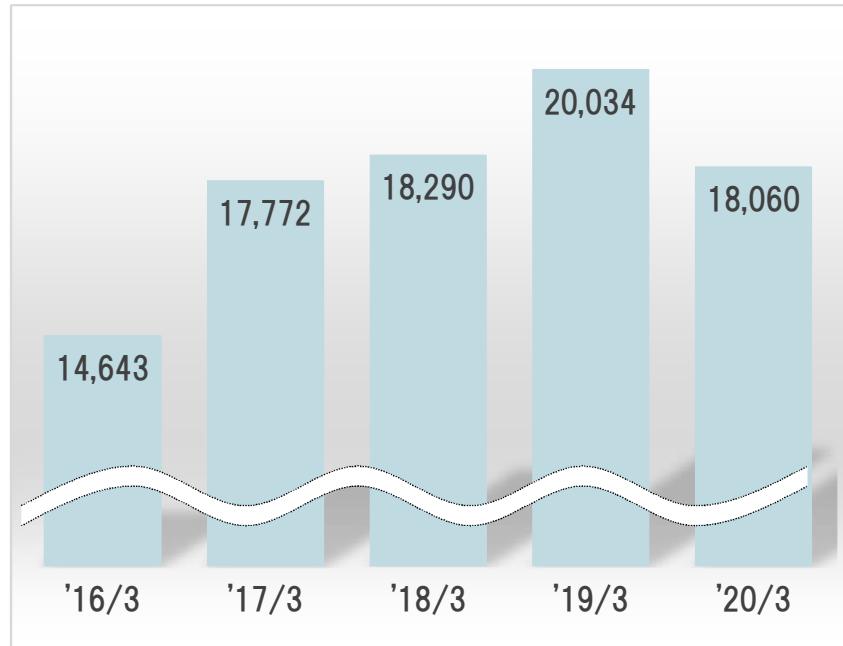
温水暖房システム等

主な増減要因

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴うサプライチェーン懸念の中、安定供給を継続
- エコキュートはZEHの普及、買い替え需要拡大の中、太陽光発電の余剰電力を積極的に活用する機能や業界トップクラスの省エネ性能などを訴求し好調に推移
- 寒冷地向けの温水暖房システム等も前期を上回る

売上高推移

(単位：百万円)



主要製品販売台数 前期比増加率

ルームエアコン計	△ 10.8%
うちウインドタイプ	+ 10.5%



ルームエアコン

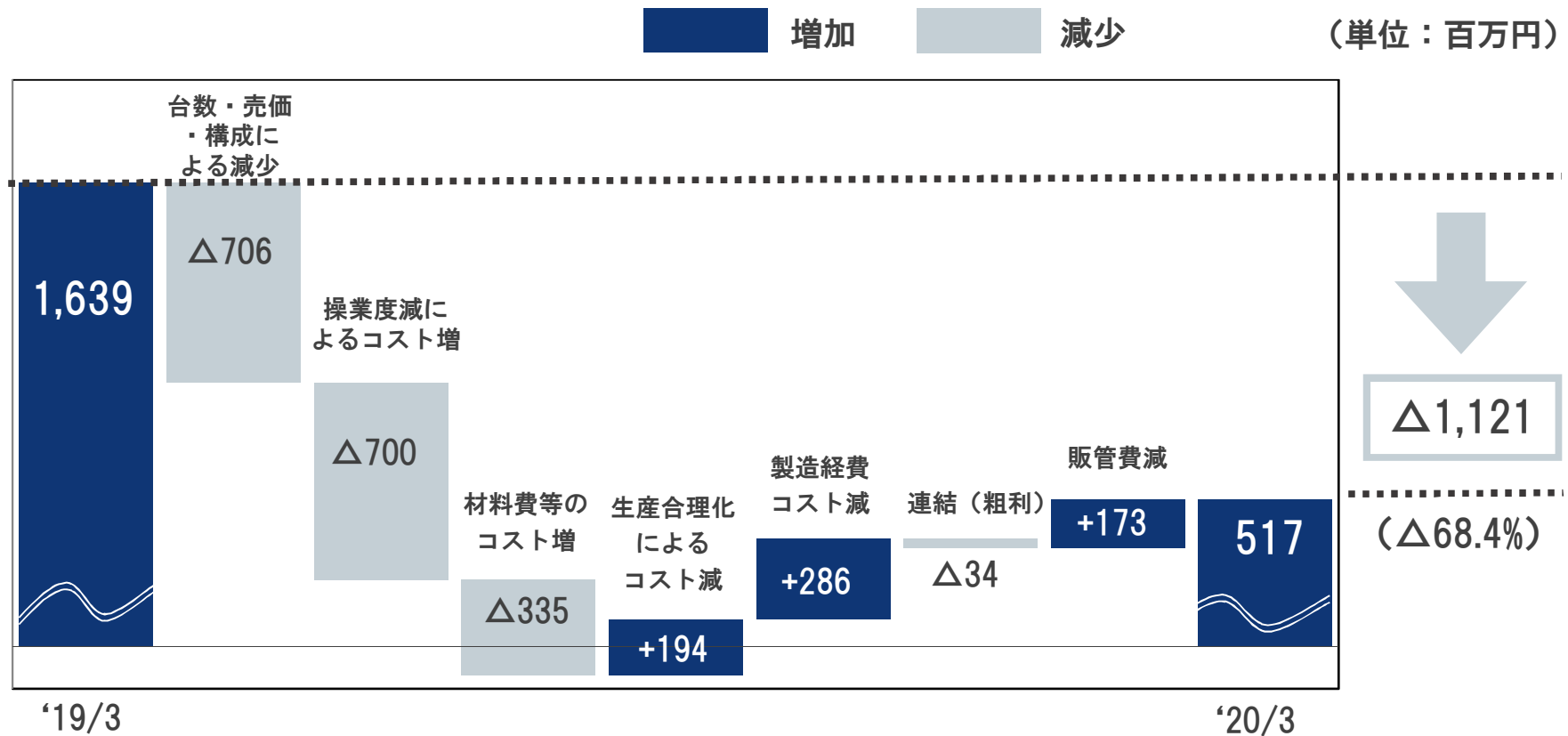


ウインドタイプ

主な増減要因

- ルームエアコンは付加価値機種の販売に注力
- ウインドタイプが前期を上回るも、天候不順等でルームエアコン全体の販売は低調に推移

連結営業利益増減要因



主な増減要因

- 生産合理化や経費削減に努めるも、売上の減少、生産量減少に伴う工場操業度の低下等により営業利益が減少

(単位：百万円)	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率 (%)
(資産の部)				
流動資産	57,724	56,003	△1,720	△3.0
固定資産	41,627	40,110	△1,516	△3.6
資産合計	99,352	96,114	△3,237	△3.3
(負債の部)				
流動負債	24,370	23,165	△1,205	△4.9
固定負債	2,115	1,787	△327	△15.5
負債合計	26,486	24,952	△1,533	△5.8
純資産合計	72,865	71,162	△1,703	△2.3
負債、純資産合計	99,352	96,114	△3,237	△3.3

主な増減要因 (単位：百万円)

- 資産の部 現金及び預金△3,459、売上債権△1,741、有価証券+350、棚卸資産+2,990、投資有価証券△534、退職給付に係る資産△791
- 負債の部 買掛債務△1,107、未払金△598、前受金+884、繰延税金負債（固定）△339
- 純資産の部 利益剰余金△433、自己株式△149、その他の包括利益累計額△1,120

2021年3月期 計画

- ・ 2021年3月期 連結業績見込み
- ・ 第8次中期経営計画の取組み状況

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による当社グループの事業に与える影響につきましては、現時点で合理的に算定することが困難であるため、業績見込みには織り込んでおりません。

2021年3月期 連結業績見込み



(単位：百万円)	2020年3月期 実績	2021年3月期 見込み	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	78,711	82,100	3,389	4.3
営業利益	517	600	83	15.8
経常利益	792	900	108	13.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	385	500	115	29.6

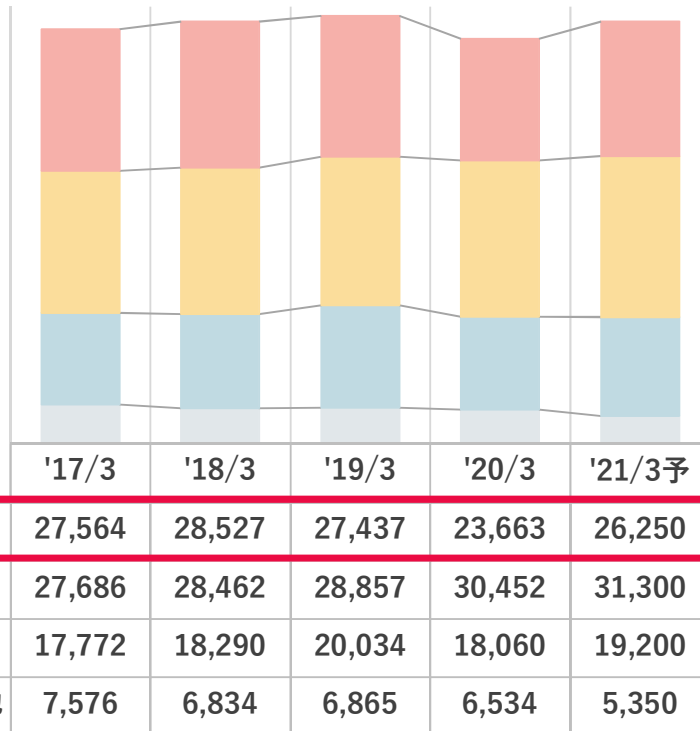
主な増減要因

- 暖房機器は“通常の冬”を前提に回復見込む、住宅設備機器はエコキュートを中心に高効率給湯機の高い需要が継続、ルームエアコンの拡販にも注力
- 暖房・空調・給湯は家庭、室内の快適な環境を作り出す“生活の必需品”、従業員の健康と安全の確保を最優先に、製品の供給責任を果たすべく事業活動を継続
- 将来の成長に向けた布石として、積極的な設備投資を継続

連結売上高・製品種類別構成推移

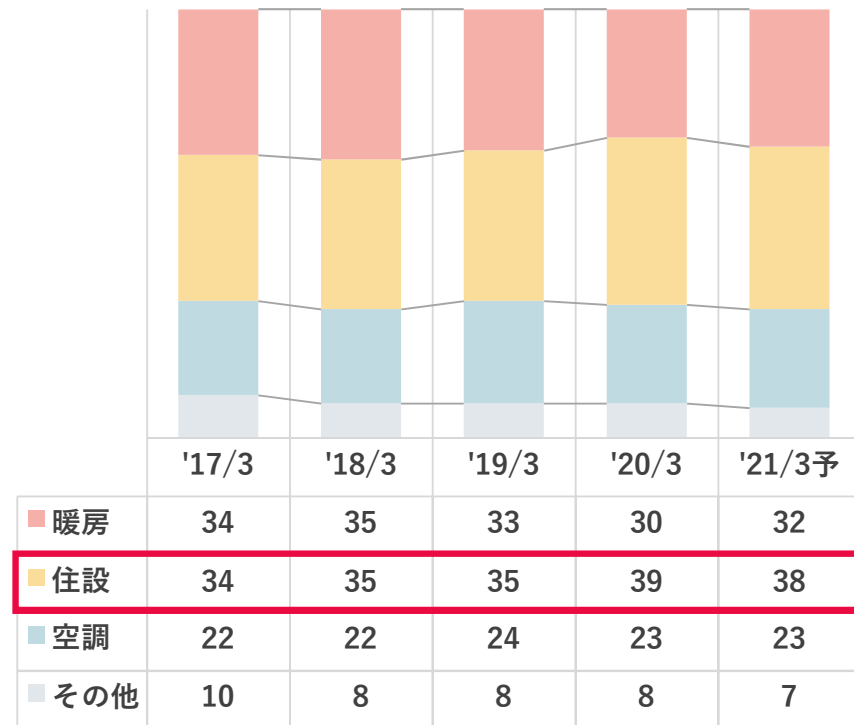
金額

(単位：百万円)



構成比

(単位：%)

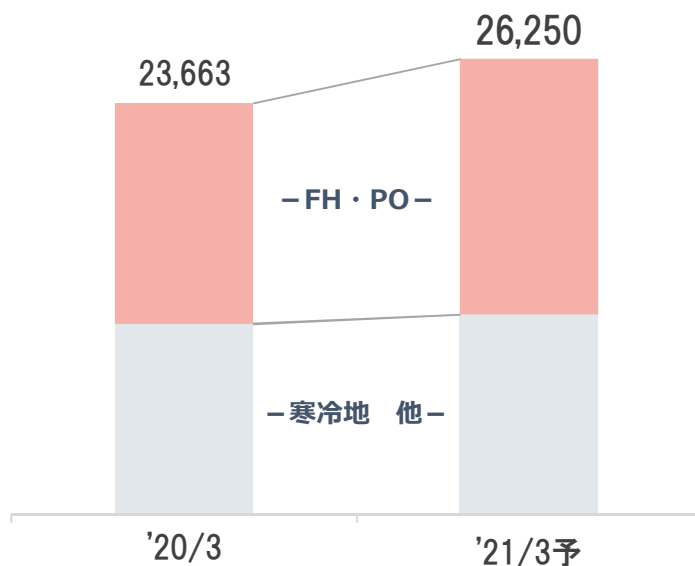


トピックス

- 暖房機器、空調・家電機器が回復、住宅設備機器は引き続き伸長見込み
- 給湯・空調システム等の販売強化で住宅設備機器の構成比を高める方針

売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

- “通常の冬”を前提に回復見込む
前期比 +26億円
- 石油暖房機の製品開発をさらに強化
- 遠赤外線電気暖房機やオイルレスヒーターは都市部を中心に拡販を図る



石油ファンヒーター (FH)
足もとの暖かさ
速暖性・経済性



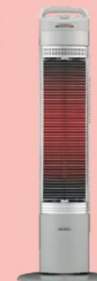
ポータブル石油ストーブ (PO)
電源不要
節電・防災としても



寒冷地向け石油暖房機
冬の暮らしをデザイン
上質な暖かさ・本格暖房



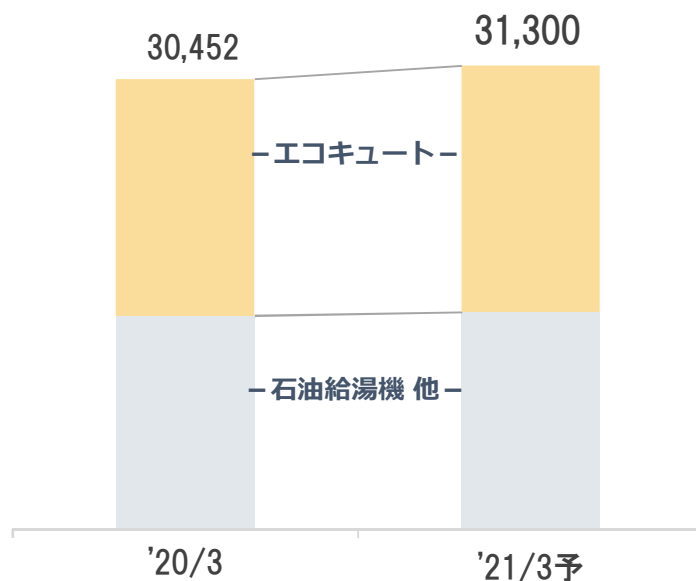
遠赤外線電気暖房機
豊富な遠赤外線
ヒートショック対策にも



自然対流形電気暖房機
オイルレスヒーター
空気へのこだわり

売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

- ZEH・「卒FIT」対応、IOTの活用 前期比 +8億円
- エコキュートは業界トップクラスの省エネ性能、アプリを活用した「見守り」機能やソーラーモードを訴求
- アクアエア商品はナノフィールを中心にターゲットを絞った販売活動を推進



石油給湯機
高効率
エコフィール



エコ暖
上質な冷暖房
高効率ヒートポンプ



ジオシスハイブリッド
再生可能エネルギー
地中熱ヒートポンプ



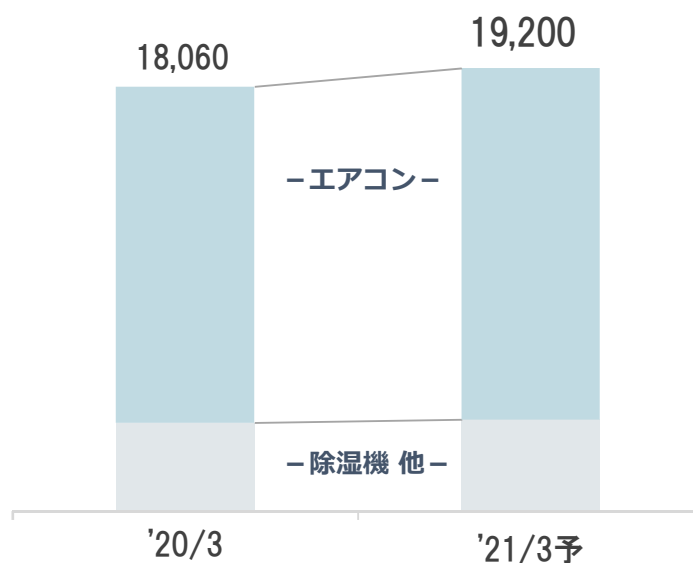
エコキュート
省エネ性能トップクラス
ソーラーモード搭載



アクアエア商品
(左から) ナノリッチ、ナノリフレ、ナノフィール
独自のマイナスイオン発生技術

売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

- ルームエアコン、除湿機等の拡販
前期比 +11億円
- ルームエアコンは中位機種の開発を強化、特色ある商品ラインアップの強みを訴求
- 衣類乾燥除湿機、冷風機の高シェアを継続、部屋干しニーズの取り込みを図る



ルームエアコン
冷房専用、寒冷地向けも
ラインアップ



ウインドエアコン
根強い人気
工事不要、簡単取付



冷風・衣類乾燥機
1台3役の「どこでもクーラー」



除湿機
パワフル除湿とスピーディな衣類乾燥
コンプレッサー式の低消費電力

— 2019～2021年度 —

中期ビジョン

ゆるぎない暖房ブランドをベースに、
年間を通じた空調・給湯の提供へ進化しつづけるコロナ

第8次中期経営計画

【推進キーワード】

コロナブランドの拡大と進化

【基本戦略】

既存事業の
領域拡大

空調事業
の強化

経営基盤
の強化

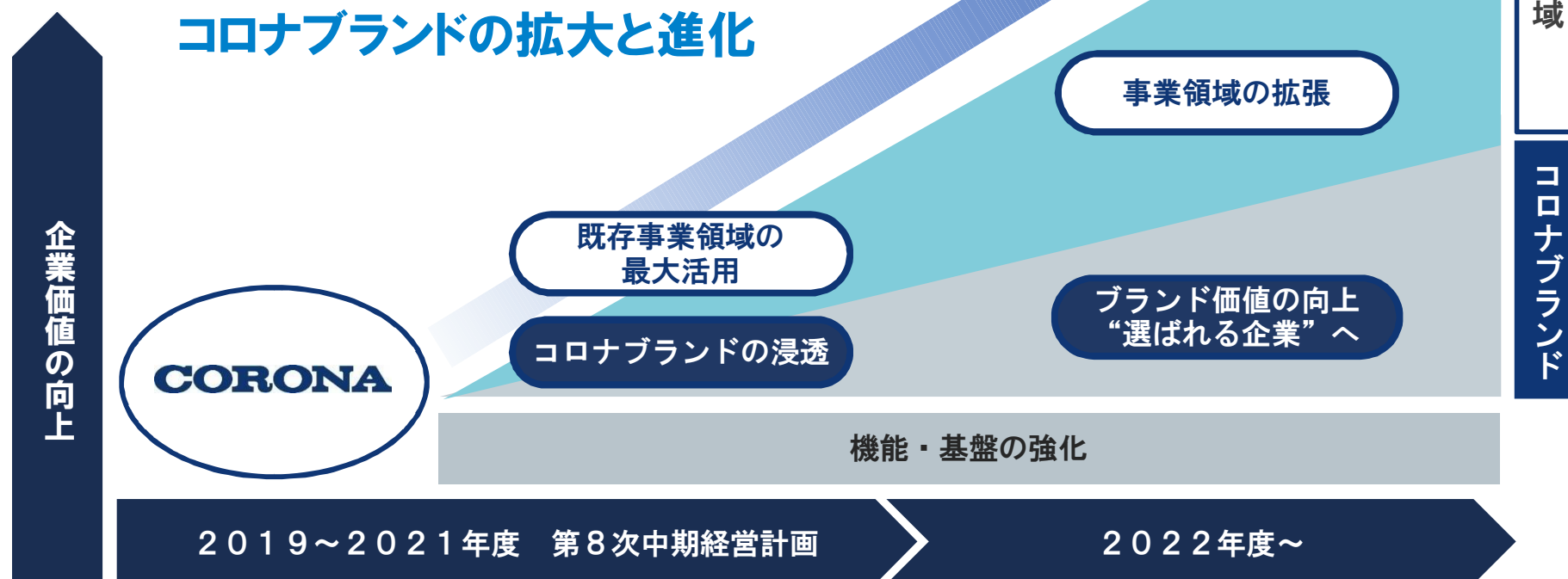
中期経営計画 数値目標【修正】

経営指標	20年3月期 実績	22年3月期 当初目標	22年3月期 修正目標	当初目標比 増減率
連結売上高	78,711百万円	91,200百万円	83,300百万円	△8.7%
連結経常利益	792百万円	3,000百万円	1,700百万円	△43.3%
連結経常利益率	1.0%	3.3%	2.0%	

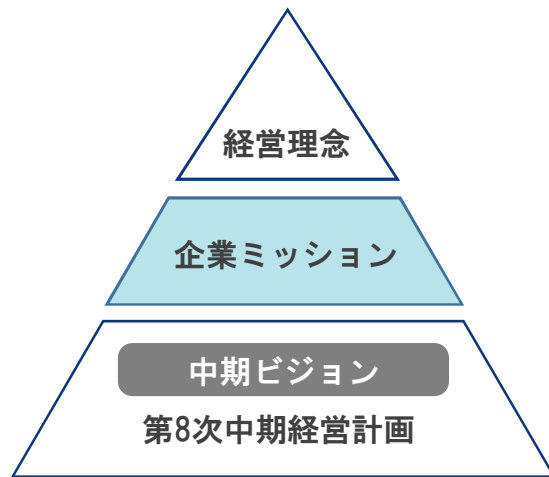
持続的な
成長

※ 修正理由・・・暖房機器の市場環境変化、大幅な回復は困難として
中計最終年度の目標数値を修正

コロナブランドの拡大と進化



企業ミッションは社会のニーズ・課題と当社グループの事業領域を照らし合わせ、
当社が果たすべき使命を示したものです。
当社グループは広く社会や環境に貢献する存在であるために、
事業活動を通じて価値を創造し、ミッションの実現を目指します。



【企業ミッション】

- **快適で心はずむ毎日**
体感できる快適に加え、暮らしにゆとりや彩りを。
つかう人の心の満足も生み出します。
- **環境にやさしい暮らし**
日々の暮らしを環境にやさしいものに。
毎日つかうものだから、エネルギーを効率よく利用し、地球環境に配慮します。
- **だれでもいつでも安心な社会**
だれでもつかいやすく、いつでも安心を。
事業を通じて、安心でレジリエンスな社会の実現に貢献します。



快適で心はずむ毎日

環境にやさしい暮らし

だれでもいつでも
安心な社会

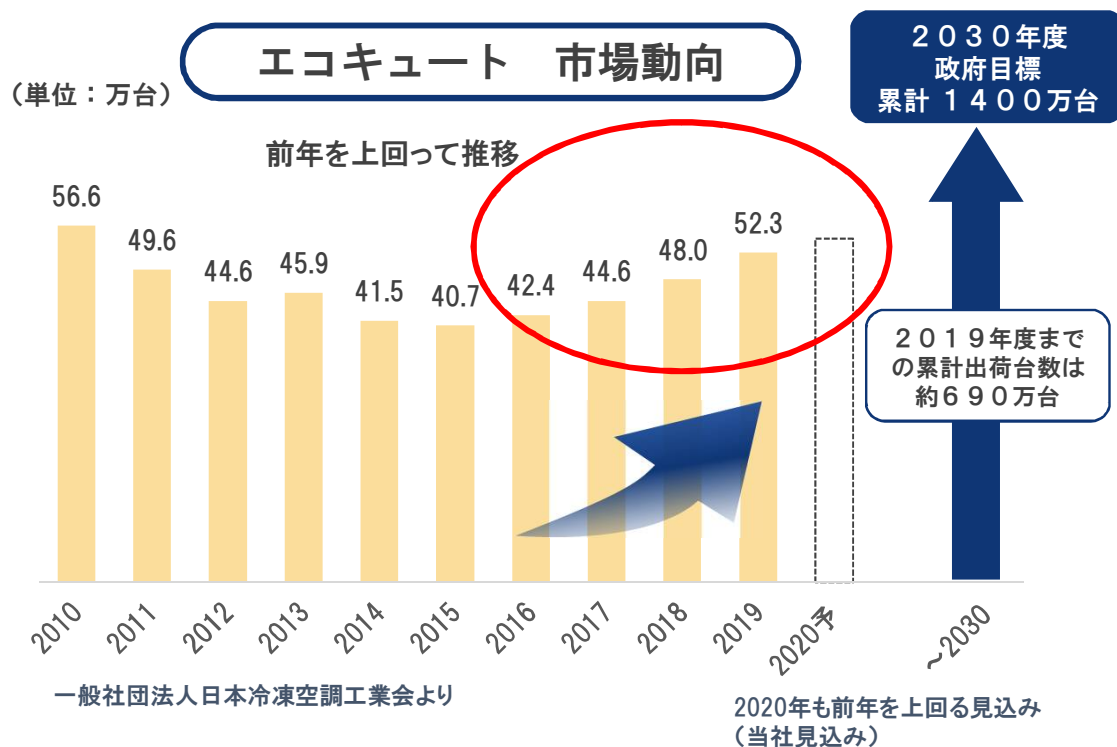
電気暖房の製品ライン
アップを拡充



2019年発売の「NOILHEAT（ノイルヒート）」

電気暖房分野の強化

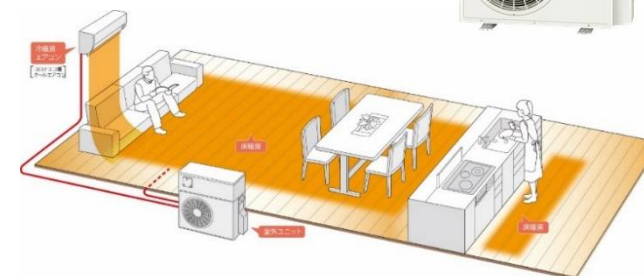
- 電気暖房は石油暖房が使えない集合住宅など、都市部を中心に一定の需要
- 当社は2008年に電気暖房市場へ参入、空間暖房としての石油暖房を補う存在として電気暖房の開発を進め、一定のシェアを獲得
- 電気暖房の製品ラインアップ拡充などにより「暖房」ジャンルの領域拡大を図る



コロナエコ暖クール
Heat pump system



- ・マンション : ZEH-M
- ・戸建 : ZEH



他社との協業も推進

ヒートポンプ技術の活用

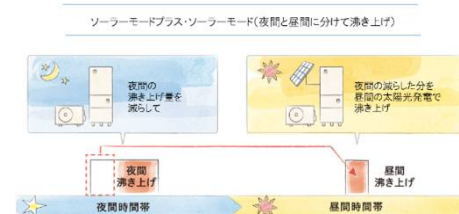
- エコキュート市場は東日本大震災以降、オール電化への逆風等で減少傾向だったが、電力不安の解消に加え、買い替え需要の顕在化、ZEHの普及、「卒FIT」対応などで2015年を底に前年を上回って推移
- 昨年発売したエアコン付きヒートポンプ床暖房システムは他社との共同開発の成果、ヒートポンプ技術を活用した給湯・冷暖房製品のラインアップ強化を目指す



新型エコキュート
(2020年5月発売)

これまでの

- ・ 天気予報や季節に応じた省エネ運転
- ・ 太陽光発電の余剰電力を活用
- ・ 入浴サポート機能 に加え、



アプリを活用した遠隔操作、「見守り」機能を搭載！



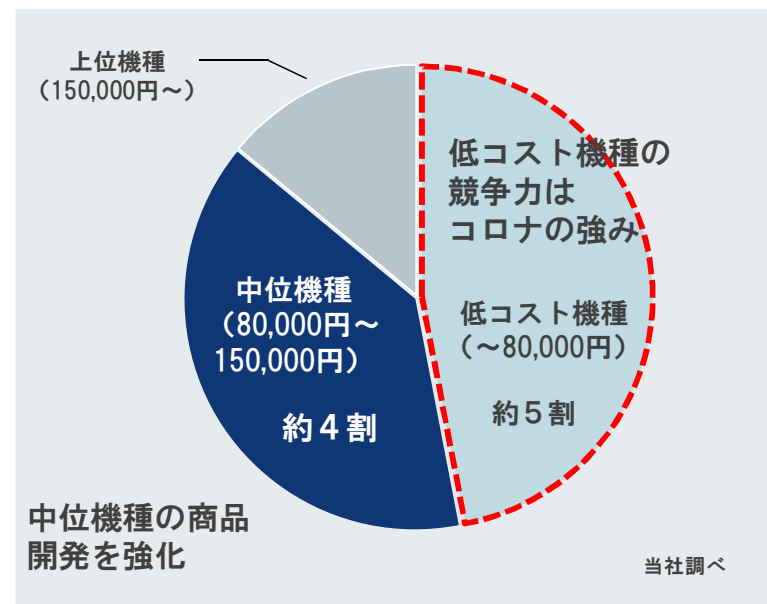
スマホやタブレットでお風呂操作

- 今春発売の新型エコキュートは当社製品で初めてのIoT活用モデル
- 専用アプリ（コロナ快適ホームアプリ：6月1日サービス開始）と連動させた遠隔操作や「見守り」機能を訴求
- 見守り機能は子育て世代の快適でゆとりある生活を応援



ルームエアコン「Sシリーズ」

家庭用エアコン市場 クラス別販売構成比



エアコン中位機種の開発を強化

- 低コスト機種中心の構成から中位機種へ事業拡大を目指す
- 2019年に発売した住宅設備機器ルート向け中位機種「Sシリーズ」の販売体制を強化
- 積極的なPR活動を展開し、エアコン事業のブランド強化を図る



リブランディング・新製品発表会
(2019年8月、東京都内)



ホームページリニューアル



ブランドブックを全社員へ配布



会社案内リニューアル

リブランディングの取り組み

- 中計「コロナブランドの拡大と進化」に向けリブランディングの取り組みを推進
- 新しいブランドスローガンは「つぎの快適をつくろう。CORONA」
- 体感できる「快適」ととどまらない、心地よさや心の満足を「実感」できるワンランク上の価値を目指す



昨年発売し好評だった
SL型石油ストーブ
30年ぶりの新色
「クラシックブラック」



今年の新色はブラウン系に決定

公式オンラインストア「コロナストア」の充実

- 公式オンラインストアは販売アイテムやアウトレットの充実を図るほか、SNSのアンケート投票で人気を集めたSL型石油ストーブの限定色を発売予定
- 今後も公式オンラインストアやSNSなどを活用し、顧客接点の強化を図る

環境配慮型製品普及への取り組み



世界初
自然冷媒（CO₂）
ヒートポンプ式給湯機
「エコキュート」

業界初
地中熱・空気熱ハイブリッド
温水暖房（冷温水）システム
「ジオシスハイブリッド」

エアコン付ヒートポンプ床暖
房システム「コロナエコ暖
クールエアコン」

環境配慮型製品の開発

- 世界で初めて発売したエコキュートを筆頭に、大気中の熱、地中熱、地中熱+空気熱など、再生可能エネルギーを利用するエネルギー効率の高い製品を開発
- 2019年6月に発売した「コロナエコ暖クールエアコン」は政府の環境関連表彰「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」「省エネ大賞資源エネルギー庁長官賞」をW受賞

人財育成・働き方改革



「均等・両立推進企業表彰」
新潟県労働局長奨励賞 受賞

災害被災地への支援



災害被災地支援



研究開発・スポーツ支援



(公財) 内田エネルギー科学振興財団の活動をサポート



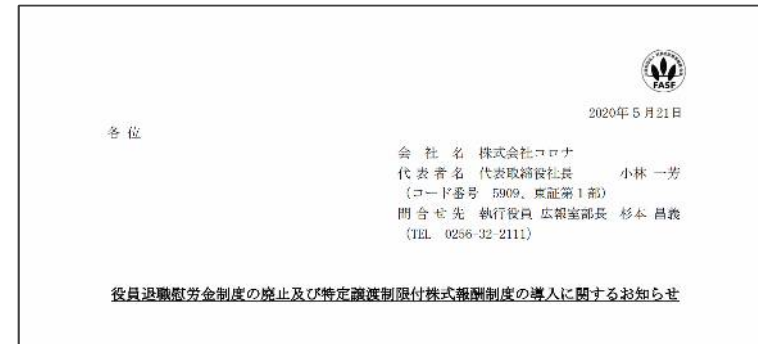
新潟アルビレックスRC
ユニフォームスポンサー

- 社会貢献の取り組み**
- 女性の活躍や長時間労働解消、働きやすい職場環境づくりに向けた取り組みを推進
 - 停電時にも活躍する石油暖房機器等を災害などで被災された地域へ迅速に支援
 - 研究開発やスポーツ活動への支援を継続

ガバナンス強化の取り組み

2016年
監査等委員会設置会社へ移行

2019年
指名・報酬に関する諮問委員会を設置



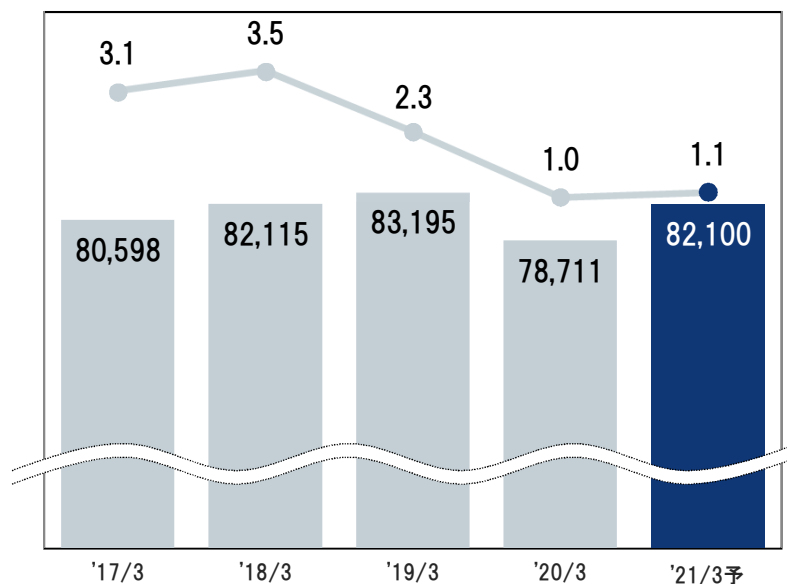
役員退職慰労金制度の廃止及び特定譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ(2020年5月21日)
<https://www.corona.co.jp/news/business/post-256.html>

2020年
役員退職慰労金制度の廃止と特定譲渡制限付株式報酬制度の導入を決定
(2020年6月25日開催予定の第72期定時株主総会に付議)

特定譲渡制限付株式報酬制度は、当社の取締役(社外取締役および監査等委員である取締役を除く)に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与すると共に、株主の皆様と一層の価値共有を進めることを目的として導入を決定

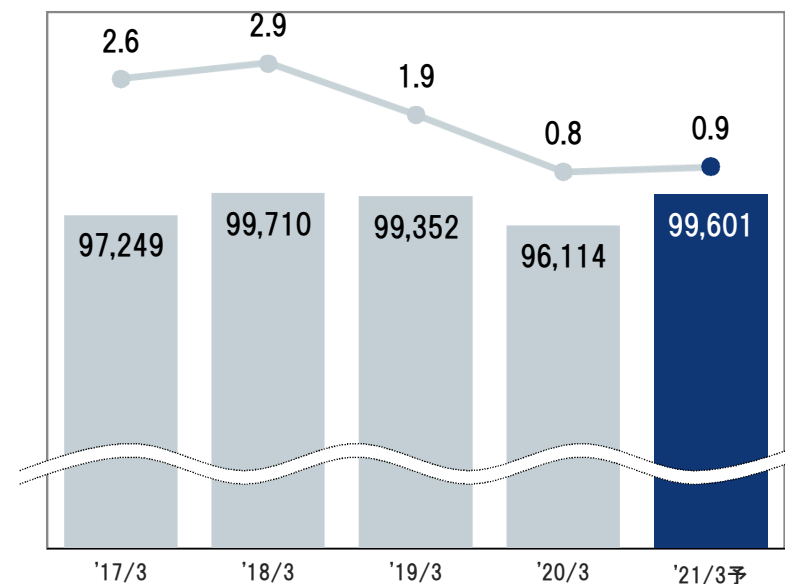
売上高・経常利益率

(単位：百万円・%)



総資産・ROA

(単位：百万円・%)



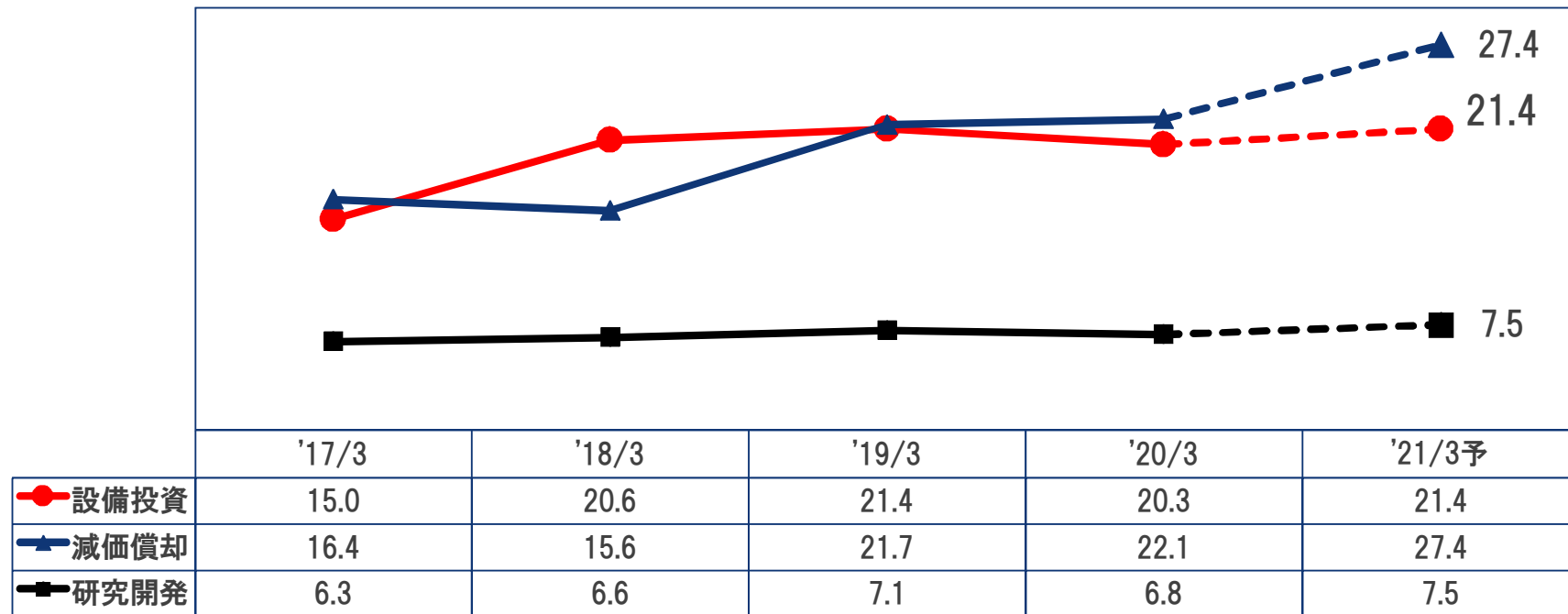
(ROA：総資産経常利益率)

資本政策の方針

- 持続的な成長のための投資と、事業特性によるリスク等を許容する健全な財務体質を確保することと、安定的・継続的な株主還元を実施する基本方針

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移（連結） **CORONA**

（単位：億円）



トピックス

- 設備投資 : 新商品の金型、生産合理化、IT投資の増強
- 減価償却 : 金型投資、機械設備の償却増
- 研究開発 : 新製品開発、製品ラインアップ拡充

2021年3月期 年28円の配当を予定

●基本方針

長期的視野に立ち、収益動向・配当性向を見据え、将来の事業展開と事業の特性を考慮した内部留保等を勘案しながら、継続した安定配当を実施

◇売上高の拡大および収益性の向上により、長期的・総合的観点から株主の皆様の利益確保を図る

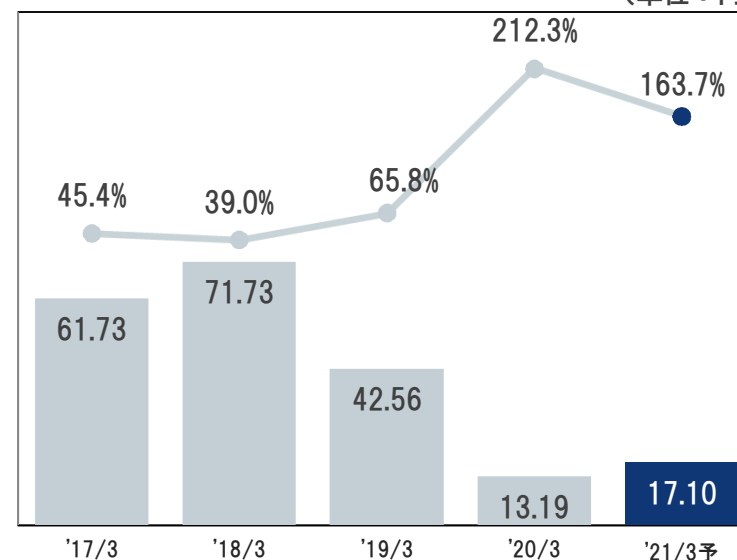
1株当たり配当金の推移

(単位：円)

	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3予
中間配当	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
期末配当	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
合計	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
1株利益	61.73	71.73	42.56	13.19	17.10
配当性向	45.4%	39.0%	65.8%	212.3%	163.7%

1株利益・配当性向

(単位：円)



つぎの快適をつくろう。

CORONA

BRAND STATEMENT

ブランドステートメント

快適とは、なにか。

それは、温度や湿度にとどまらない。

ココロとカラダが望むものすべて。

そこには、無限の可能性がある。私たちの未来がある。

さあ、つぎの快適をつくろう。今までの常識に捉われず。

培ってきた技術と経験を注ぎ。

考えよう。追究しよう。開発しよう。

くらしをもっと豊かにするために。

お問合せ先

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

株式会社 コロナ 広報室

TEL: 0256-35-8558

FAX: 0256-36-6523

E-mail: info@hode01.corona.co.jp

- 会社概要
- 主な沿革
- 経営理念：コロナイズム
- こだわりのメイドイン・新潟
- 売上高構成と主な製品

会社概要 (2020年3月31日現在)

CORONA

- ・ 創 業 1937年(昭和12)4月
- ・ 本 社 新潟県三条市東新保7番7号
- ・ 資 本 金 74億4,960万円
- ・ 単元株主数 8,284名(対前期末比 Δ 87名)



1954年当時の開発風景
(本社：歴史展示ホール)

- ・ 事業内容 暖房機器、空調・家電機器、住宅設備機器の製造、販売等
- ・ 主な事業所
 研究所 技術開発センター(三条市)、柏崎技術センター(柏崎市)
 生産拠点 新潟県内8工場(三条、柏崎、長岡、子会社5工場)
 営業拠点 支店11、営業所57
- ・ 従業員数 2,304名(連結)(対前期末比 Δ 16名)
- ・ 関係会社数 連結子会社12社、関連会社1社



本社：技術開発センター

主な沿革

CORONA

1930年～

1937年（昭和12）
新潟県三条市
にて創業

1952年（昭和27）
日本初
加圧式石油コンロ発売



1955年（昭和30）
日本初
加圧式石油ストーブ発売



1970年～

1973年（昭和48）
石油給湯機発売



1979年（昭和54）
エアコン市場参入



石油ファンヒーター発売



2000年～

2006年（平成18）
東証一部上場

1992年（平成4）
商号を「株式会社コロナ」
に変更

2001年（平成13）
世界初 自然冷媒（CO2）
ヒートポンプ式給湯機
「エコキュート」発売



2008年（平成20）
電気暖房市場参入



2010年～

2017年（平成29）
創業80周年

2019年（令和元）
リブランディング
つぎの快適をつくろう。

CORONA

自然対流形電気暖房機
「NOILHEAT（ノイルヒート）」
発売



2014年（平成26）
業界初 地中熱・空気熱
ハイブリッド温水暖房システム
発売



企業理念

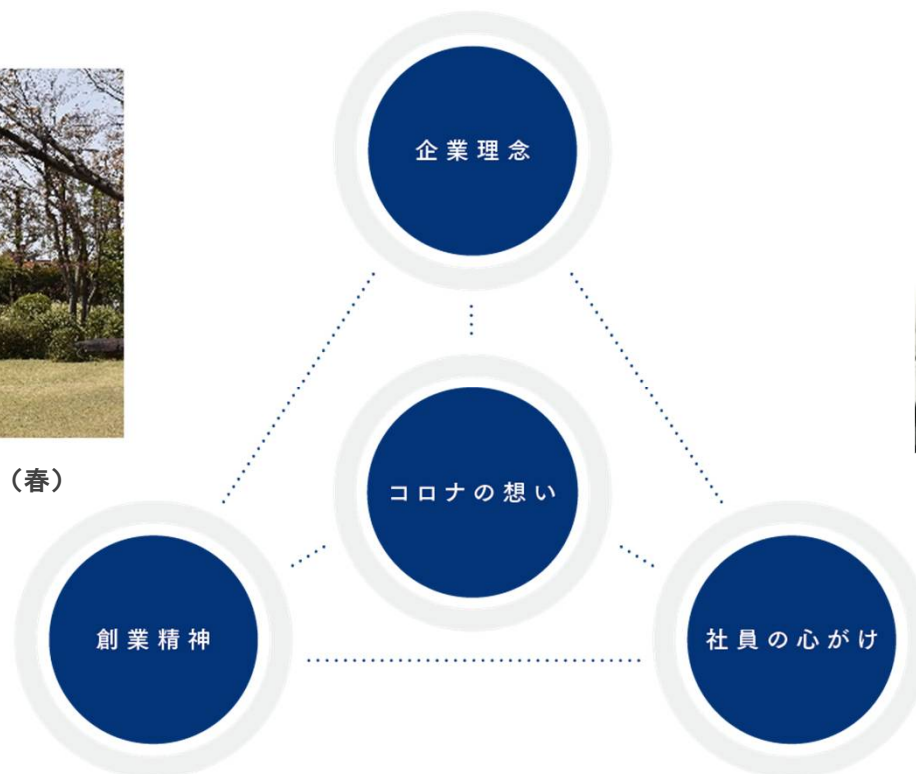
あなたと共に
夢…新たなライフシーン…を実現しお客様に喜んでいただけるコロナ
～快適・健康で環境にやさしい心豊かな生活になくてはならないコロナでありたい～



本社技術開発センター前（春）



36豪雪時猛吹雪の中
ストーブを担ぐ社員の列



創業精神

[誠実と努力]

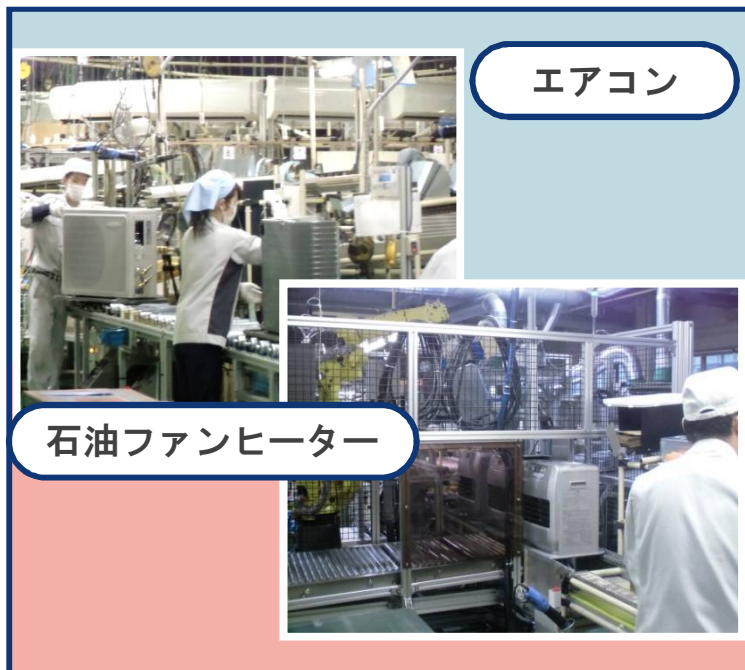
コロナの想い

[感謝と感動]

社員の心がけ

[創造と協創（げんこつの理）]

[チャレンジ For You]



「二毛作生産」で年間を通してフル稼働
(写真は三条工場)



総合的品質管理の世界最高ランクの賞である
「デミング賞実施賞」を受賞(2010年度)

- 石油ファンヒーターとルームエアコンの「二毛作生産」から柔軟な通年生産へ
- 新潟県内の各工場で、需要状況に応じて機動的な生産体制が可能
- 合理化生産設備の積極導入、作業改善による生産性の向上を図る

売上高構成と主な商品

【住宅設備機器】



アクアエア商品



ヒートポンプ式床暖房
「エコ暖」シリーズ



地中熱+空気熱ヒートポンプ
冷温水システム

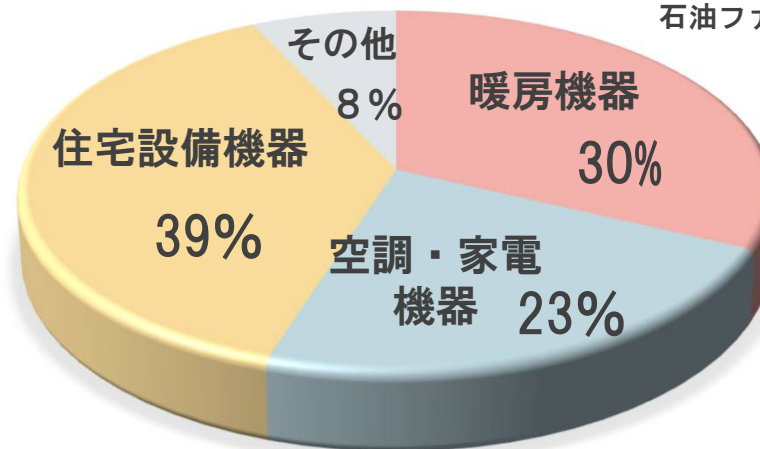


石油給湯機



エコキュート

2020年3月期
売上高：787億円



【暖房機器】



石油ファンヒーター



寒冷地向け大型石油暖房機



石油ストーブ

遠赤外線電気暖房機



自然対流形
電気暖房機



【空調・家電機器】



ルームエアコン



ウインドエアコン



冷風機・除湿機